

事前評価個表

事業名	国有林直轄治山事業 (地域防災対策総合治山事業)	事業計画期間	平成26年度～平成35年度(10年間)						
事業実施地区名 (都道府県名)	十勝岳(白金) ^{(とちだけ(しろがね))} (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 上川中部森林管理署						
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、美瑛町から南東へ約21kmに位置し、十勝岳連峰を主峰とする大雪山国立公園内にあり、日本でも有数の活火山である。大正15年5月の大噴火により流出した火山泥流により、上富良野町及び美瑛町で死者・行方不明者あわせて144名もの尊い人命が失われた歴史がある。国有林では昭和32年より治山工事が実施され一定の成果を得てきたところである。</p> <p>しかし、融雪型泥流等を想定したシミュレーション結果等から、現在の治山施設だけでは保全対象である白金温泉に泥流被害が及ぶおそれがあることから、溪間工(導流堤等)を実施することにより、山麓で氾濫した泥流を捕捉し、また流下方向を制御することにより、下流域の保全を図るため当事業を計画したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容： 導流堤5基 遊砂工6基 嵩上工3基 本数調整伐 39.00ha ・ 主な保全対象： 宿泊施設8棟 公共施設2箇所 公道3km ・ 総事業費 1,970,000千円 								
費用対効果分析	<table> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>2,851,355千円</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>1,593,945千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>1.79</td> </tr> </table>			総便益(B)	2,851,355千円	総費用(C)	1,593,945千円	分析結果(B/C)	1.79
総便益(B)	2,851,355千円								
総費用(C)	1,593,945千円								
分析結果(B/C)	1.79								
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考える。								
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 現状の施設配置では火山泥流が発生した場合、下流域へ泥流被害を与えるおそれがあり、かつ、地元より下流域の保全及び地域住民の安全確保も求められていることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 効率性 当事業の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工法・工種で検討されており、効率性は認められる。 ・ 有効性 当事業を実施することにより、硫黄沢周辺で氾濫する泥流が抑制され、下流域の保全が図られ、有効性が認められる。 								

様式1

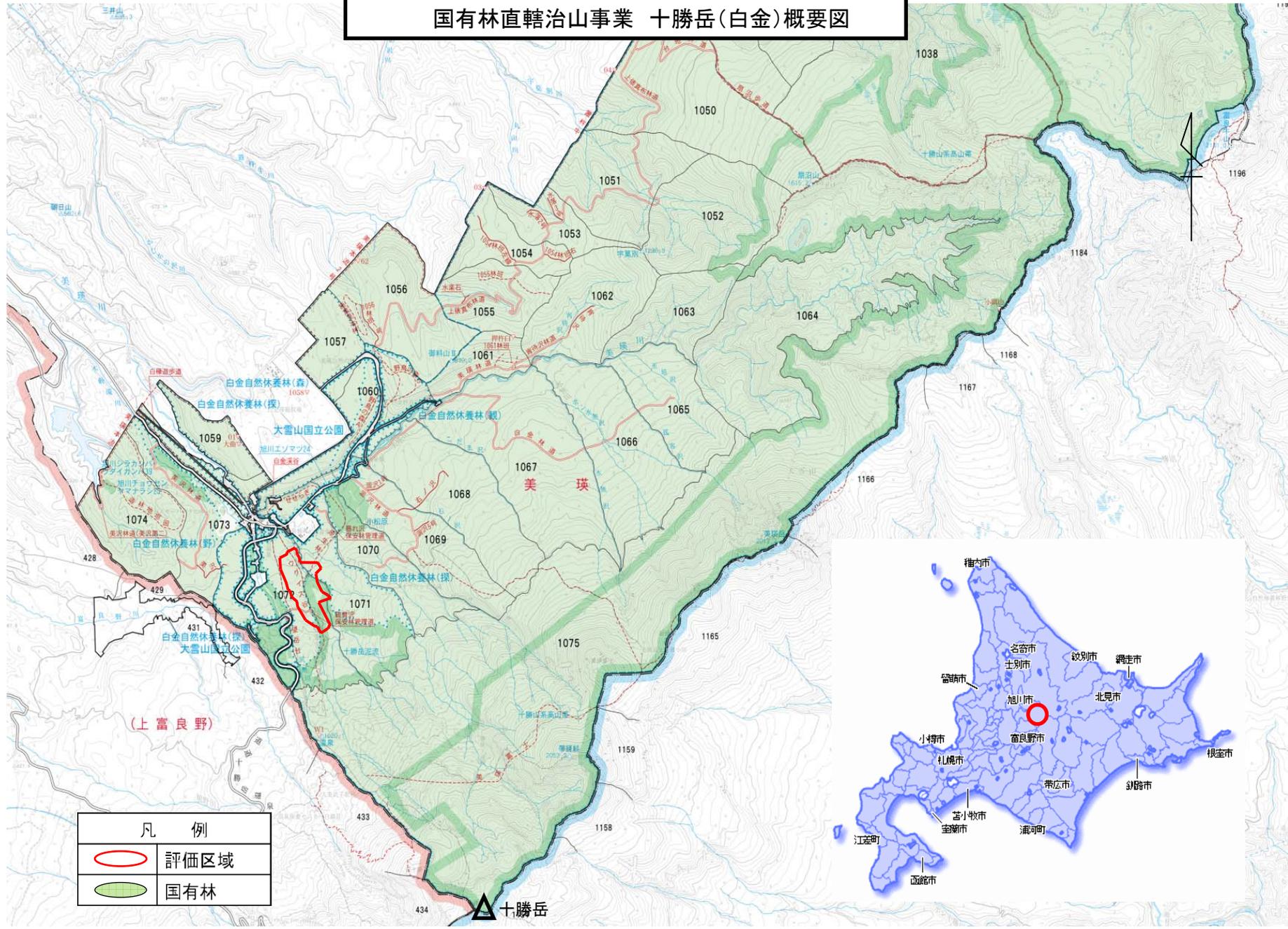
便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：国有林直轄治山事業
施行箇所：十勝岳(白金)

都道府県名：北海道
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	25,906	
	流域貯水便益	13,606	
	水質浄化便益	29,956	
災害防止便益	山地災害防止便益	2,781,887	
総 便 益 (B)		2,851,355	
総 費 用 (C)		1,593,945	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{2,851,355}{1,593,945}$		= 1.79

国有林直轄治山事業 十勝岳(白金)概要図



凡 例	
	評価区域
	国有林

